

伊野写真ニュース2号

7回目を迎えた伊野いち

レピーターが3分の2 伊野いちファン増え続ける 伝統のしばチマキが大人気

今年で4年目を迎えた「伊野いち」が、6月16日(金)、旧 JA 美野店を会場に開催された。毎年6月と10月に開催し、今回が7回目となる。

来客数は約400人。3分の2をレピーターが占めている。伝統食やおもてなしコーナーなど特色ある伊野いちのファンは増え続けている。

今回のヒット商品は、伊野の伝統食「しば入りチマキ」。用意した70個はあっという間に完売。遅れてやって来た松江市内の主婦が、「10個ほど新たに作ってもらえないか」と懇願。伊野いちスタッフ有志が願いにこたえた。

シジミや鮮魚・野菜は人気商品ベスト5の常連だが、意外なものがあることがお客さまの足を伊野いちに向けている。今回はベベ貝。60パックがあっという間に売り切れた。



▲遠来のお客様も多い伊野いち